



第 16 回麻酔科学ウインターセミナー

2016 年 2 月 5～7 日

## 橋本先生，臼井先生 優秀賞受賞

### 橋本優希 先生

小児の手術室入室，  
麻酔導入における  
ビデオグラスの有用  
性

2月5日～7日、ヒルトンニセコビレッジで開催された麻酔科学ウインターセミナーに参加してきました。

初日は平日だったこともあり、到着したのは夜中でしたが、早速雪景色の露天風呂に浸かって真冬のニセコを楽しみました。

2日目。朝早くから全国から来られた先生方の貴重なご講演をきくことができ、眠気が覚めるほど大変に勉強になりました。日中にはフリータイムがあり、ニセコのパウダースノーを楽しんだり、ホテルのスパでリフレッシュしたり・・・と、いろいろな選択肢があったのですが、今回は体調を崩しかけた同期と風邪治り

かけの後輩と同室だったので、お部屋でゆっくりと過ごすことに。ふかふかのベッドでゴロゴロしながら、麻酔のお話、そして女子トークを楽しみました。

午後からは神経ブロックのハンズオンセミナーに参加させていただきました。実際にモデルの方にエコーを当てさせてもらい、全身のさまざまなブロックを指導医の先生に直接ご指導いただきました。今回私が参加したのはベーシックコースで、ふだんから実践しているブロックをもう一度じっくりと指導していただくことができました。少人数制で、ちょっとした疑問なども聞きやすい環境だったため、一つ一つのブロックを丁寧に学ぶことができ、大変に有意義なセミナーでした。今回はベーシックコースで大満足でしたが、アドバンスドコースもあり、もし次の機会があれば、そちらにも挑戦してみたいと思います。

ハンズオンセミナーが終わると、私にとっての今回のメインイベントであるポスター発表でした。まだまだ発表経験が少なく、緊張もしてしまいましたが、親切丁寧に指導してくださる先生方に囲まれ、なんとか無事に発表することができました。そして、ポスター発表の3位という賞までいただくことができました。何度も時間をかけて丁寧に指導してくださった指導医の先生に本当に感謝しています。ただ、もちろん反省点もたくさんあります。今回の反省を今後に生かし、成長できるよう精進したいと思います。

その後はおいしいご飯とおいしいお酒を楽しくいただき、最高の夜をすごしました。

麻酔科医として勉強するという意味でも、ニセコを楽しむという意味でも、大変に有意義な3日間でした。もし機会があれば、また参加させていただきたいです。

後期研修医 橋本優希

## 臼井彩 先生

下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎悪性腫瘍摘出術において術中経食道心エコーを用いて右房内に遊離した腫瘍塞栓子を発見し得た1症例

このたびウインターセミナーでの症例報告の機会を頂きました。

症例発表はほとんど経験がなく、ポスター発表も初めてでしたが、抄録の作成方法や、見やすいポスターの形式など、今後の学会発表等で必要となる技術や知識を一から丁寧に指導していただきました。当日は緊張しましたが、直前まで発表の練習もしていただき、「大丈夫！頑張って！」と背中を押していただき、とても励まされたことを覚えています。今回の発表を無事に終わることができたのは指導医の先生をはじめ、たくさんの先生方に熱心なご指導をいただいたおかげです。本当にありがとうございました。

レクチャーや勉強会もたくさんありました。中でもブロック勉強会はコース分けされており、研修医にも分かりやすく大変勉強になりました。

ニセコヒルトンホテルに宿泊できたのも、とても良い思い出です。各地からいらっしゃった先生方も北海道の冬を満喫され、フレンドリーな雰囲気交流されているのが印象的でした。私も一緒に参加した先生方のおかげで本当に楽しませていただきました。温泉・お食事もとてもすばらしく感動しました。とても充実したウインターセミナーでした。

初期研修医 臼井彩